

ひとつ一粒

詞 奥田 祐子

曲 原田 文隆

A C#m F#m C#m D A 3 Bm C#7
ひとつのはなが さくために どれほどつくしたときがあったらろう

F#m 3 C#m D 3 E A Bm C#m D E 3
ながした なみ だは う らぎらないよね みをむすぶこと しんじ

F#m F# Dmaj7(13) C#m Bm
て さいた はなが すべてみを

C#m7 Dmaj7(13) C#7 F#m 3 C#m
つける わけじゃない - だからこそた

D E A Bm D E C#7 F#m 3 C#m
ねをまこう - つづけよう わたしのもってる

D E A Bm C#m D E 3 F#m
たね - を ひとつひとつ ひとつぶ

1 1つの花が咲くために どれほど

尽くした^{とき}時間が あっただろう

流した涙は 裏切らないよね

実を結ぶこと 信じて

咲いた花が 全て実をつける訳じゃない

だからこそ 種をまこう 続けよう

私の持ってる種を ひとつひとつ一粒

2 1つの花が咲くために どれほど

尽くした力 あっただろう

流した汗は 裏切らないよね

実を結ぶこと 信じて

咲いた花が いつも実をつける訳じゃない

だからこそ 種になろう 続けよう

私のできる種に ひとつひとつ一粒